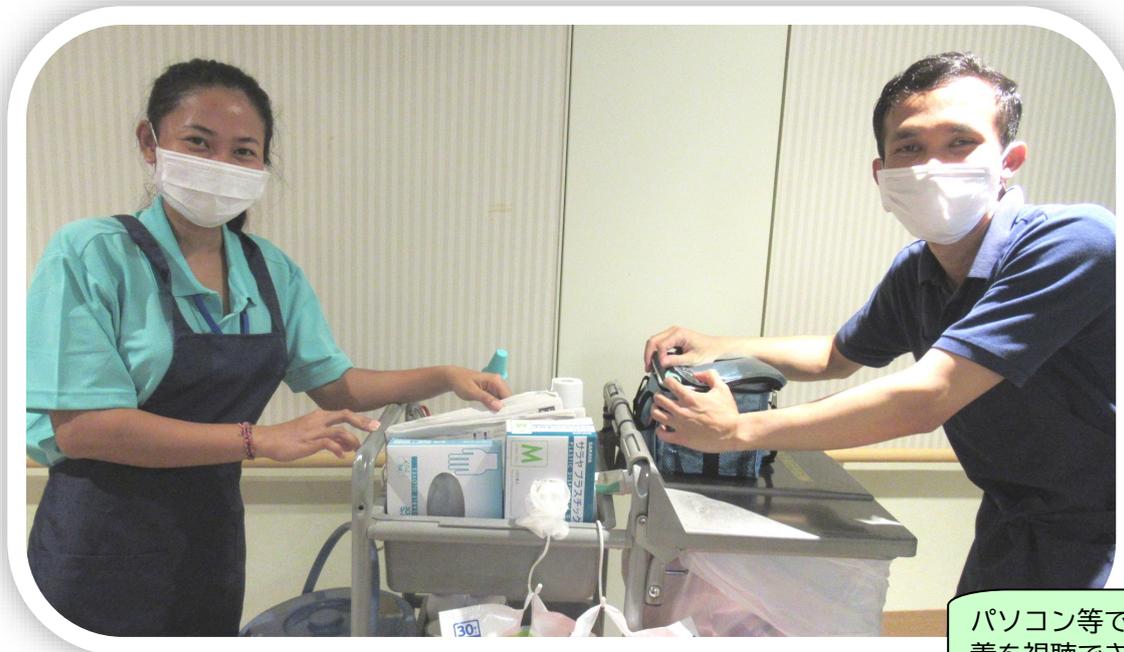


令和3年度 外国人介護従事者指導担当職員向け研修

～“違い”と“同じ”から考える外国人介護職員との働き方～

オンライン開催
受講無料

受講者募集！



パソコン等でいつでも講義を視聴できます！

配信期間：11月15日（月）～12月24日（金）（予定）

対象者：都内介護サービス事業者における外国人介護職員の指導担当職員（予定者を含む）

申込期限：11月30日（火）

外国人介護職員と働くということは、日本人職員と働く場合と、何が違って、何が同じなのでしょう。

本研修では、受入れ制度だけでなく、外国人介護職員とのコミュニケーション、指導・育成、生活支援などにおいて、配慮が必要な点、日本人と同じである点など、指導担当職員に必要な視点、知識・ノウハウについて、具体例を交えながらお伝えします。

※本研修の修了が、東京都の「介護施設等による留学生受入れ支援事業補助金」の交付要件となります。

講義内容

【動画配信】 期間中、いつでも、複数回に分けて視聴可能。

①「外国人介護従事者受入れの制度・法令関係」（約40分）

講師：第一東京弁護士会 弁護士 片岡邦弘

②「多文化理解の促進、日本語指導のポイント」（約40分）

講師：新宿日本語学校 校長 江副隆秀

③「外国人介護従事者受入れの体制づくり」（約40分）

講師：群馬医療福祉大学短期大学部 教授 白井幸久

④「介護業務に関する指導・教育」（約40分）

講師：群馬医療福祉大学短期大学部 教授 白井幸久

⑤「日本での生活に対する支援」（約40分）

講師：東京都介護福祉士会 会長 永嶋昌樹

⑥「外国人介護従事者受入れの事例」（約15分×2事例+職員インタビュー約20分）

事例①：社会福祉法人聖風会 特別養護老人ホーム台東 他

事例②：社会福祉法人東六会 特別養護老人ホームゆしまの郷

※事例紹介の内容は、外国人介護従事者受入れセミナーと異なります。

※一部の講義のみ受講することも可能ですが、修了証書の発行は全科目の動画の視聴が要件となります。

※講義の具体的な内容は、当財団ホームページに掲載しています。

昨年度の研修受講者の声

今後、外国人人材の受入れを検討していく中で、制度のことや準備しなければならないこと、理解しておかなければならないことが詳細にまとめられており、興味深く受講することができた。

全体として実際の事例に基づく講義が主体であり、大変参考になった。

空いている時間帯に受講することができ、確認したい内容については、巻き戻して聞くことができたので、非常に良かった。

※昨年度の研修で使用した受入れ事例の動画を当財団ホームページからご覧いただけます。

申込方法等

申込み方法、受講方法は、東京都福祉保健財団ホームページをご覧ください。

【お問い合わせ先】

(公財)東京都福祉保健財団人材養成部外国人介護人材担当 TEL 03-3344-8627

ホームページ:

東京都福祉保健財団 外国人

検索



URL: <https://www.fukushizaidan.jp/122gaikokujin/>